

1 設置目的

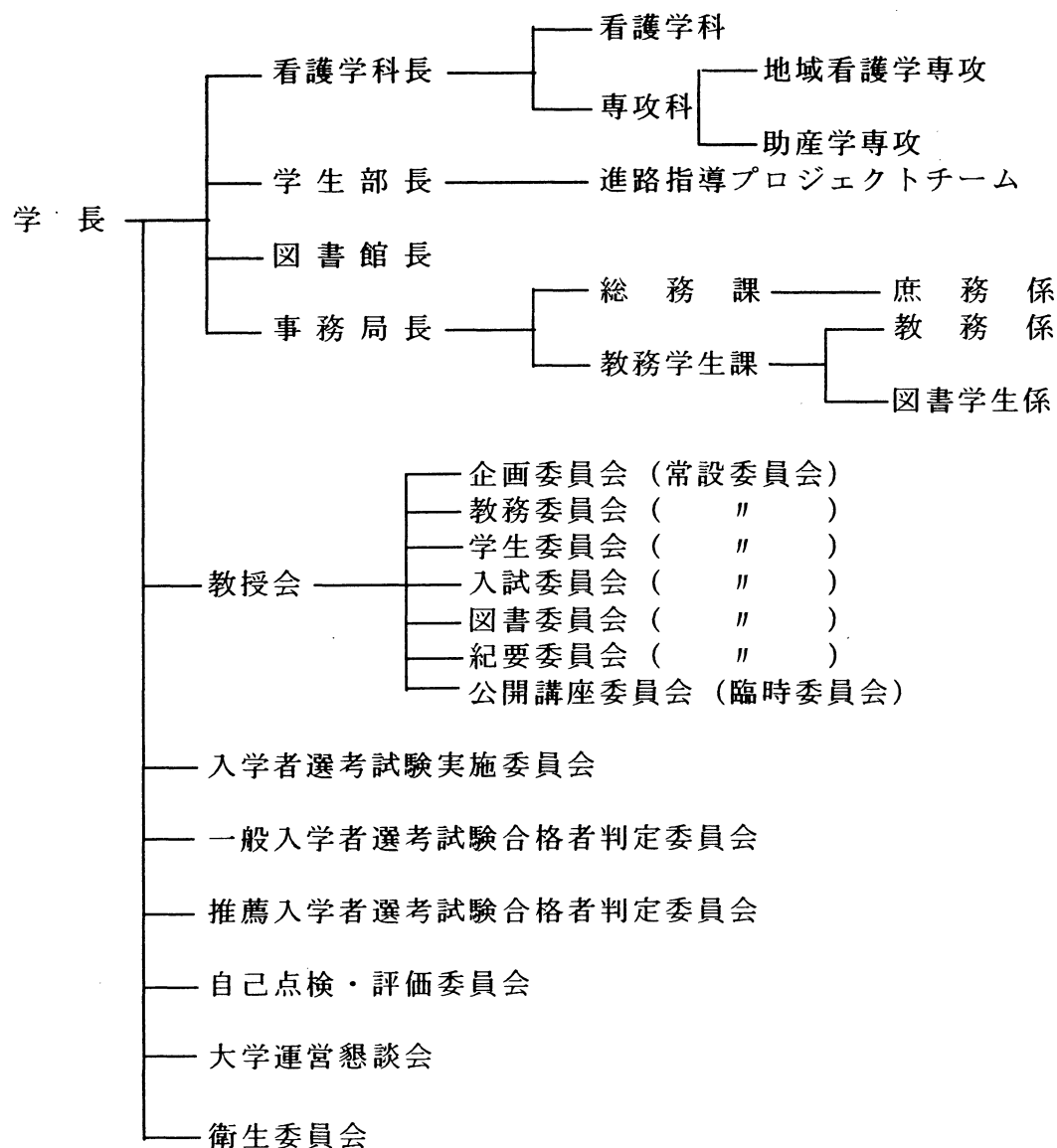
本学は、看護に関する高度な知識及び技術を教授研究し、人間性豊かで、かつ新しい看護ニーズに対応した指導的役割の果たせる人材を育成するとともに、県内の看護関係者に対して研修及び情報提供機能を果たすことにより、本県の保健医療水準の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 沿革

- 平成 2 年 6 月 ・ 「大学等高等教育の推進に関する懇談会」看護系短期大学設置検討意見
- 12 月 ・ 「看護職員確保対策協議会」養给力強化のため、県立短大設置要望「県立看護系短期大学設立検討委員会」設置
- 平成 3 年 3 月 ・ 県立看護系短期大学設立検討委員会「県立看護系短期大学（仮称）設置基本構想」を作成
- 4 月 ・ 県環境保健部総務課県立看護短期大学設立準備室を設置
- 5 月 ・ 県立看護短期大学「上越市設置、平成 6 年 4 月開学」知事決定
- 7 月 ・ 「県立看護短期大学設立準備委員会」発足
- 11 月 ・ 「県立看護短期大学基本構想・基本計画」作成
- 平成 4 年 4 月 ・ 県立看護短期大学設立準備室組織強化・用地の買収開始
- 5 月 ・ 基本・実施設計完了
- 10 月 ・ 校舎建設工事着工
- 平成 5 年 4 月 ・ 県立看護短期大学設立準備室組織強化
- ・ 短期大学設置認可申請書を文部大臣に提出
- 9 月 ・ 看護婦養成学校指定申請書を文部大臣に提出
- 12 月 ・ 文部大臣より短期大学設置認可
- 平成 6 年 1 月 ・ 文部大臣より看護婦養成学校指定 ・ 校舎建設工事完了
- 4 月 ・ 新潟県立看護短期大学開学 ・ 第 1 回入学式挙行
- 5 月 ・ 開学記念式典挙行
- 平成 7 年 3 月 ・ シンボルマーク制定
- 5 月 ・ 第 1 回戴帽式挙行
- 平成 8 年 3 月 ・ 校歌制定
- 12 月 ・ 専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）設置届受理
- ・ 保健婦学校及び助産婦学校指定
- 平成 9 年 3 月 ・ 第 1 回看護学科生卒業式挙行
- 平成 9 年 4 月 ・ 専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）開設
- 平成 10 年 3 月 ・ 第 2 回看護学科生卒業式、第 1 回専攻科生修了式挙行

3 大学組織

(1) 大学運営機構



(2) 教職員の状況

① 教員、職員数

ア 専任職員

(平成 12 年 3 月現在)

担当	学長	教授	助教授	講師	助手	計
基礎科目		2人	1人	1人		4人
専門基礎科目	1人	1人				2人
専門科目		4人	5人	13人	9人	31人
計	1人	7人	6人	14人	9人	37人

イ 非常勤講師

(平成 12 年 3 月現在)

担 当	所 属
基 礎 科 目 12 人	・新潟大学 ・上越教育大学 ・県立新潟女子短期大学 ・山梨医科大学 ・国立療養所犀潟病院 ・新潟労災病院 ・厚生連上越総合病院 ・市内開業医 ・県立病院、県福祉保健部、県保健所 ・その他
専 門 基 礎 科 目 31 人	
専 門 科 目 19 人	
計 62 人	

ウ 事務局

(平成 12 年 3 月現在)

区 分	局長	課長	係長	主査	主任	主事	嘱託員等	計
事 務 局	1 人							1 人
総 務 課		1 人	*1 人	1 人	1 人	1 人	1 人	6 人
教 務 学 生 課		(1 人)	*1 人 1 人		1 人	2 人 司書 1 人	5 人	11 人
計	1 人	1 人	3 人	1 人	2 人	4 人	6 人	18 人

※ () は兼務、*係長は副参事

② 専任教員名簿

(平成 12 年 3 月現在)

職 名	氏 名	主要担当科目
学 長	斎 藤 秀 晃	医 学 概 論 看 護 学 特 論 II
看護学科長	加 藤 光 實	看 護 学 概 論 臨 床 看 護 学 総 論
教 授	小野澤 康 子	成 人 看 護 学 概 論 成 人 保 健
〃	田 中 キミ子	老 人 看 護 学 概 論 成 人 看 護 学 実 習 III・IV
〃	杉 田 収	生 化 学 ・ 化 学 統 計 学
〃	中 野 正 春	解 剖 生 理 学 リハビリテーション概論
〃	佐々木 美佐子	地 域 看 護 学 地 域 看 護 学 概 論
〃	関 谷 伸 一	生 物 学 解 剖 生 理 学

職 名	氏 名	主要担当科目
助 教 授	長 野 勝	精 神 臨 床 看 護 学 精 神 保 健
"	小 林 ミチ子	基 礎 看 護 技 術 基 礎 看 護 学 実 習 I
"	中 村 博 生	英 語 I ・ II ・ III
"	小 林 優 子	成 人 臨 床 看 護 学 I 臨 床 看 護 学 実 習 I
"	秋 山 智 弥	臨 床 看 護 学 総 論 成 人 看 護 学 実 習 I
"	山 本 澄 子	基 礎 看 護 技 術 I ・ II 基 礎 看 護 学 実 習 I
講 師	金 子 史 代	臨 床 看 護 学 総 論 成 人 臨 床 看 護 学 III
"	秋 山 啓 子	小 児 保 健 学 小 児 臨 床 看 護 学
"	山 田 洋 子	臨 床 看 護 総 論 成 人 臨 床 看 護 学 IV
"	水 口 陽 子	老 人 臨 床 看 護 学 老 人 看 護 学 実 習
"	小 林 美 代 子	母 性 臨 床 看 護 学 母 性 看 護 学 実 習
"	小 林 恵 子	地 域 看 護 技 術 論 II 地 域 老 年 保 健 学
"	平 澤 則 子	地 域 看 護 技 術 論 III 地 域 成 人 保 健 学
"	渡 邊 典 子	助 産 学 概 論 分 娩 介 助 技 術 学
"	飯 吉 令 枝	地 域 看 護 学 実 習 地 域 看 護 技 術 論 演 習
"	渡 辺 弘 之	社 会 学 社 会 福 祉 制 度
"	安 田 かづ子	母 性 看 護 学 実 習 助 産 診 断 技 術 学
"	熊 倉 みつ子	地 域 看 護 学 成 人 看 護 学 実 習 III
"	和 田 佳 子	母 性 看 護 学 概 論 母 性 保 健
"	山 田 正 実	成 人 臨 床 看 護 学 III 臨 床 看 護 学 総 論 II
助 手	大 久 保 明 子	基 礎 看 護 学 実 習

職 名	氏 名	主要担当科目
助 手	西 脇 洋 子	基 礎 看 護 学 実 習
〃	斎 藤 智 子	基 礎 看 護 学 実 習
〃	太 田 和 美	基 礎 看 護 学 実 習
〃	福 原 紀	基 礎 看 護 学 実 習
〃	岡 村 典 子	基 礎 看 護 学 実 習
〃	島 田 有 子	基 礎 看 護 学 実 習
〃	布 施 幸 子	基 礎 看 護 学 実 習
〃	高 塚 麻 由	基 礎 看 護 学 実 習

③ 非常勤講師名簿

(平成 12 年 3 月現在)

氏 名	担 当 科 目	所 属 等
太 田 昌 秀	保健体育 (実技)	上越教育大学 教授
砥 堀 雅 信	保健体育 (講義)	上越教育大学 教授
川 島 章 弘	情報科学概論・演習	上越教育大学 教授
藤 澤 郁 夫	哲 学	上越教育大学 教授
若 井 彌 一	教育学	上越教育大学 教授
西 山 保 子	物理学	上越教育大学 教授
安 田 尚	看護学特論Ⅳ	上越教育大学 教授
山 本 保	機能集団の保健管理	上越教育大学 教授
三 浦 望 慶	運動科学	上越教育大学 教授
光 永 伸一郎	栄養学	上越教育大学 助教授
立屋敷 かおる	栄養論	上越教育大学 助教授
黎 子 椰	中国語Ⅰ・Ⅱ	上越教育大学 助教授
阿 部 勲	心理学	上越教育大学 助教授

氏 名	担 当 科 目	所 属 等
大 森 康 正	情報管理学	上越教育大学 講師
横 山 和 彦	福祉行政論・保健医療経済論	新潟大学経済学部 教授
石 井 敏 弘	健康政策論	国立公衆衛生院 主任研究官
花 沢 成 一	母性の精神衛生	日本大学文理学部 教授
若 月 章	国際関係論	県立新潟女子短期大学 助教授
三 浦 まゆみ	母性の精神衛生	新潟大学保健管理センター 講師
橘 玲 子	パーソナリティの諸問題	新潟大学保健管理センター 講師
渡 邊 タミ子	小児看護学概論	山梨医科大学 助教授
武 内 廣 盛	精神病態学	国立療養所犀潟病院 精神科医長
寺 尾 通 徳	微生物学	新潟県保健環境科学研究所 専門研究員
石 田 道 雄	遺伝学	厚生連上越総合病院 産婦人科医長
高 橋 壮一郎	老年期病態学	見附市保健福祉医療センター長
星 山 真 理	病態学Ⅲ（内分泌）	柏崎中央病院 副院長
佐 藤 昭 雄	病態学Ⅳ（歯科）	佐藤歯科医院
石郷岡 泰	行動科学	特別養護老人ホーム国見苑 苑長
樋 口 正 一	放射線医学	新潟労災病院 放射線科部長
澁 谷 久	科学史	
中 島 大 住	文化人類学	
古 川 素 子	臨床栄養学	
村 川 英 三	看護学特論Ⅲ	県立中央病院 院長
片 桐 明 善	病態学Ⅱ（泌尿器）	県立中央病院 泌尿器科医長
阿 部 惇	病態学Ⅰ（血液・造血器）	県立中央病院 診療部長
土 田 正	病態学Ⅱ（脳神経）	県立中央病院 診療部長
末 山 博 男	放射線医学	県立中央病院 放射線科部長
長谷川 正 樹	病態学Ⅰ（腹部外科）	県立中央病院 外科部長
内 藤 彰	病態学Ⅰ（消化器）	県立中央病院 内科医長
山 崎 国 男	病態学Ⅰ（消化器）	県立中央病院 内科部長

氏 名	担当科目	所 属 等
永 井 孝 一	病態学Ⅰ（血液・造血器）	県立中央病院 内科部長
丸 山 雄一郎	病態学Ⅱ（腎臓）	県立中央病院 内科部長
佐 藤 健比呂	病態学Ⅱ（内科・膠原病・感染症）	県立中央病院 内科医長
濱 田 正 明	病態学Ⅱ（皮膚科）	県立中央病院 皮膚科医長
大 島 晃	病態学Ⅳ（眼科）	県立中央病院 眼科医長
丸 橋 敏 宏	生殖病態学	県立中央病院 産婦人科部長
藤 原 満	病態学Ⅳ（耳鼻咽喉科）	県立中央病院 耳鼻科医長
須 田 昌 司	小児期病態学	県立中央病院 小児科部長
丸 山 茂	助産診断技術学Ⅳ	県立中央病院 小児科医長
山 口 正 俊	薬理学	県立六日町病院 薬剤部長
曾 根 啓 一	保健行政論	新潟県福祉保健部 部長
片 桐 幹 雄	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 課長
峯 田 和 彦	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 歯科保健係長
山 崎 理	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 感染症対策係長
松 井 一 光	保健統計学	新潟県小出保健所 所長
後 藤 雅 博	地域精神保健学	新潟県精神保健福祉センター 所長
上 村 桂	疫学・環境保健論	新潟県六日町保健所 所長
西 脇 京 子	公衆衛生学	新潟県糸魚川保健所 所長
大 村 紘 一	関係法規	新潟県上越保健所 所長
石 本 勝 見	臨床心理学	新潟県新潟学園 園長
荒 川 和 浩	関係法規	新潟県コニーにいがた白岩の里 所長
山 川 かほる	カウンセリング	松浜病院 心理士

④ 事務職員名簿

(平成 12 年 3 月現在)

配 置	職 名	氏 名
事 務 局	事 務 局 長	田 中 宏 樹
総 務 課	総務課長兼教務学生課長	田 中 俊 雄
	副 参 事 (庶 務 係 長)	杉 田 省 五
	主 査	高 橋 直 子
	主 任	本 間 徹
	主 事	内 田 恵 子
	嘱 託 員	関 根 加 代 子
教 務 学 生 課	副 参 事 (教 務 係 長)	村 松 良 雄
	主 事	渡 部 靖 彦
	〃	岡 本 剛
	嘱 託 員	佐 藤 直 美
	図 書 学 生 係 長	中 島 恒 光
	主 任	金 澤 昌 美
	司 書	吉 原 貴 子
	嘱 託 員	羽 生 田 崇
	〃	太 田 尊 文
	〃	秦 野 忠 男
	非 常 勤 職 員	中 島 佳 代 子

⑤ 教員の転入転出一覧表
(転入者)

職 名	氏 名	前 所 属	年 月 日
助 教 授	近 藤 好 枝		12. 4. 1
講 師	大 井 ひかる	東京大学医学部付属病院	〃
助 手	森 本 美智子		〃
〃	小 嶋 久 枝	新潟県小出保健所	〃
〃	垣 内 志 保	東京大学医学部付属病院	〃
〃	山 元 智 穂	聖路加国際病院	〃

(転出者)

職名	氏名	転出先	年月日
講師	金子史代	新潟青陵大学	12. 4. 1
〃	渡邊典子	〃	〃
助手	小池潤	新潟県退職	11. 7. 9
〃	福原紀	〃	12. 3. 31
〃	島田有子	〃	〃

⑥ 事務局職員の転入転出一覧表

(転入者)

職名	氏名	前所属	年月日
事務局長	小俣新	地方労働委員会事務局	12. 4. 1
総務課長兼 教務学生課長	宮北昭治	環境生活部 消防防災課	〃
主任	石川光司	糸魚川財務事務所	〃

(転出者)

職名	氏名	転出先	年月日
事務局長	田中宏樹	新潟県退職	11. 3. 31
総務課長兼 教務学生課長	田中俊雄	糸魚川高校	12. 4. 1
主任	渡部靖彦	上越財務事務所	〃

4 施設の概要

・施設面積	40,082 m ²		
・建物面積	鉄筋コンクリート造3階建	校舎棟	8,781 m ²
		体育館棟	1,323 m ²
		計	10,104 m ²

(主な施設)

管理研究棟	学長室、事務局、研究室31、看護学実験室、会議室2、学生食堂
図書館棟	図書館(6万冊所蔵可能)、LL教室(ブース56台) 情報科学教室(パソコン56台)
教育棟	講義室8、合同講義室2、実習室6、実験室2、演習室4
体育館棟	体育館(講堂兼用)、サークル室5、心理相談室
グラウンド	200mトラック、ソフトボール場、テニスコート2面
駐車場	第1、第2駐車場(170台駐車可能)

5 予算の状況(11年度当初)

(単位：千円)

事業名		予算額	事業名	予算額
教職員給与費		485,518	教育研究費	34,428
維持管理費		52,895	非常勤講師報酬等	17,202
運営費	運営費	33,345	公開講座事業費	118
	各種会議開催費	772	実習指導者養成委託費	657
	各種団体負担金	535	共同研究事業費	3,800
事務費	入学試験費	5,044	臨床実習指導費	6,007
	図書館費	10,888	学内ネットワーク構築費	8,158
	設備充実費	11,145	図書館システム	1,733
			合計	672,245

6 主要行事

(1) 学年暦

学 期	事 項	日 程
前 期	入 学 式	4月 6日 (火)
	学内ガイダンス	4月 7日 (水)
	健 康 診 断	4月 7日 (水) ~ 4月 8日 (木)
	学外ガイダンス (看護学科1年)	4月 8日 (木) ~ 4月 9日 (金)
	前期授業開始	4月 8日 (木)
	戴 帽 式	5月 7日 (金) 休 講
	開 学 記 念 日	5月 8日 (土)
	夏 季 休 業	7月 11日 (日) ~ 8月 31日 (火)
	前 期 試 験	9月 6日 (月) ~ 9月 28日 (火)
	補 講	9月 29日 (水) ~ 9月 30日 (木)
後 期	後期授業開始	10月 1日 (金)
	大 学 祭 準 備	11月 19日 (金) 休 講
	大 学 祭	11月 20日 (土)
	冬 季 休 業	12月 21日 (火) ~ 1月 10日 (月)
	後 期 試 験	2月 8日 (火) ~ 2月 18日 (金)
	補 講	2月 16日 (水) ~ 3月 17日 (金)
	卒 業 式	3月 14日 (火)
	春 季 休 業	3月 21日 (火) ~ 3月 31日 (金)

(2) 主要行事等の概要

① 入学式

看護学科第6期生99人、専攻科第3期生60人を迎える入学式が、磯部副知事を始め多くの来賓の出席をいただき、4月6日（火）午前10時30分から本学の体育館で挙行された。

② 戴帽式

5月7日（金）に、県立中央病院長ほか実習施設の方々を来賓に迎え、本学として第5回目の戴帽式が体育館で行われた。

3年生から戴帽生（2年生）1人ひとりにキャッピングが行われ、看護の灯を引き継いだキャンドルを胸にステージに並び、自分達で考えた「誓いの言葉」を全員で述べた後、加藤学科長の訓辞、斎藤学長の式辞や来賓の祝辞を受けた。

式終了後、体育館で教員や先輩を交えて祝賀会が行われ、看護学生としての節目を祝った。

< 誓いの言葉 >

私たちは、本学に入学して一年間、看護に携わっていくための基礎的な学問を学んできました。

これから始まる臨床実習では、これまで学んできたことや臨床に接して感じ取れる数多くの体験を確実に自分の知識・技術とし、常に看護の本質とは何かを追求していく看護婦・看護師を目指します。

私たちは、専門的な看護の科学的知識と技術を持つものとして、看護の対象となる人の人権を尊び、身体的・精神的・社会的にその人のもつ能力が最大限に発揮されるように、真摯な態度で看護学を学び続けることを誓います。

探求心を忘れず、勉学に励み、質の高い看護を目指す実践に優れた看護婦・看護師になることを皆様に誓います。

③ 運営懇談会

開学後 6 回目の運営懇談会が平成 11 年 10 月 20 日に行われ、本学側から大学の当面する課題として、1. 自己点検評価の実施 2. シラバスの編成 3. 国家試験対策について 4. 就職・進路指導の充実 5. 入試方法の再検討 6. コンピュータネットワークシステム利用にかかる規則の整備 について説明した後に、ア. 高度な看護教育のめざすべき方向について イ. 今後の看護教育について ウ. 大学の公開について エ. 看護技術系の情報基地としての本学図書館の役割について オ. インターネットの活用について カ. 看護婦・保健婦・助産婦の今後の需給見通しについてのテーマで意見交換を行った。

④ 卒業式・修了式

本年度は、看護学科第 4 期生 99 人と専攻科第 3 期生 60 人（地域看護学専攻 45 人、助産学専攻 15 人）を送り出す卒業式及び修了式が平野出納長をはじめ、大澤上越教育大学長、村川県立中央病院長ほか、多くの来賓の出席をいただき、3 月 14 日（火）午前 10 時から本校の体育館で厳粛な雰囲気の中で挙行された。

7 教 育

(1) 教育目標とカリキュラムの概要

本学の教育は、生命への畏敬の念をもつことと人権尊重を基本理念とし、科学性・合理性と豊かな人間性及び柔軟な感性をもつ看護の専門家を育成することを目的とする。カリキュラムは広い視野と柔軟な感性で看護の対象に対応できる能力、進歩発展する医療技術に対応できる基礎的な看護実践力及び看護学の発展や看護技術の向上に貢献できる研究能力の基礎を養い、更に保健・医療・福祉チームの一員として関連職種と連携し協調して看護の役割を果たす能力を育てることを目標とし構成されている。平成9年度からカリキュラム改正に伴う検討を行い平成11年度生から新カリキュラムで教育を行っている。平成9年度生、平成10年度生は前カリキュラムである。

新カリキュラムは大別すると基礎分野と専門基礎分野及び専門分野からなる。基礎分野及び専門基礎分野の多くは、1年次及び2年次で開講し、看護の対象となる人間を生物学的・心理学的・社会的側面から理解することと、専門分野につながる基礎的知識を教授する。

専門分野は、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学並びに在宅看護論があり、それぞれの科目には臨地実習科目が加わっている。専門分野は3年間にわたって開講するが、1学年から2学年前期まで及び3学年後期は主に講義、演習で教授し、2学年後期から3学年前期では病院・施設・保健所・保育所・地域で臨地実習を行う。

また、情報処理技術の習得を図るため、コンピューター操作のオリエンテーションを入学時に行い各科目のレポート作成に活用し、更に統計学、情報科学概論及び演習、看護過程演習などの科目で積極的にコンピューターによる授業を展開する。

(2) 臨地実習教育について

臨地実習科目は、看護教育カリキュラムにおいて重要な科目であり、知識と実践を統合する科目である。臨床の場での体験学習によって科学的な思考や判断能力を養い、看護基礎技術を習得させ自主的・創造的な学習能力を啓発する。

また、臨地実習教育に際し、開学時より臨床実習プロジェクトで作成した実習要項により、実習指導方法を検討するとともに、実習施設との連絡調整及び実習事例の検討会などを行ってきた。現在、この臨床実習プロジェクトは、教務委員会に移行させる項目を整理して、臨床実習調整委員会として活動している。

開学以来、臨床実習指導者講習会に実習施設より毎年研修生を派遣している。また実習施設の院内教育に、教員を派遣するなど努めている。

8 学生に関する状況

(1) 在籍学生数（県内、県外別）

（平成12年3月現在）

① 看護学科

	県内	県外	合計
1年	64人	35人	99人
2年	64人	35人	99人
3年	74人	25人	99人
合計	202人	95人	297人

② 専攻科

	県内	県外	合計
地域看護学専攻	32人	13人	45人
助産学専攻	12人	3人	15人
合計	44人	16人	60人

(2) 入学試験の状況

① 看護学科一般試験（募集人員70人）

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成10年度	総 数	348	266	79	70 (3)
	県 内	160	124	37	34
	県 外	188	142	42	36 (3)
平成11年度	総 数	264	210	80	70
	県 内	119	105	27	34
	県 外	145	105	53	36
平成12年度	総 数	354	260	72	59 (1)
	県 内	178	133	43	36 (1)
	県 外	176	127	29	23

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

② 看護学科推薦入試（募集人員50人 県内高校の3年生のみ）

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成10年度	85	84	30	30 (1)
平成11年度	80	80	30	30 (1)
平成12年度	106	106	50	50 (3)

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

③ 専攻科地域看護学専攻一般試験 (募集人員 23 人)

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成10年度	総 数	148	126	24	23
	県 内	53	50	8	14
	県 外	95	76	16	9
平成11年度	総 数	152	127	23	23
	県 内	53	48	3	15
	県 外	99	79	20	8
平成12年度	総 数	95	75	23	23 (3)
	県 内	40	36	11	15 (1)
	県 外	55	39	12	8 (2)

④ 専攻科地域看護学専攻推薦入試 (募集人員 22 人)

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 10 年度	46	45	22	22 (1)
平成 11 年度	50	49	22	22
平成 12 年度	48	48	22	22

【注】 上記表の () は男子を内数で示す。

⑤ 専攻科助産学専攻一般試験 (募集人員 8 人)

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成10年度	総 数	38	34	8	7
	県 内	19	18	5	5
	県 外	19	16	3	2
平成11年度	総 数	49	48	8	8
	県 内	23	22	3	6
	県 外	26	26	5	2
平成12年度	総 数	35	31	8	8
	県 内	24	22	3	3
	県 外	11	9	5	5

⑥ 専攻科助産学専攻推薦入試 (募集人員 7 人)

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 10 年度	26	26	7	7
平成 11 年度	15	15	7	7
平成 12 年度	10	10	7	7

(3) 奨学金等の貸与の状況

(平成 12 年 3 月現在)

日 本 育 英 会			新潟県奨学金	新潟県看護職員修学資金	他 県
一 種		二 種	県教育委員会 月額 32,000 円	県福祉保健部福祉保健課 特別 月額 32,000 円 一般 " 16,000 円	岐阜県 長野県 戸倉町
自宅生	自宅外生	自宅外生			
7 人	93 人	10 人	3 人	78 人	10 人

(4) 心理相談 (学生相談)

平成 7 年 4 月より、心理カウンセリングなど本学学生への心理的援助サービスを目的とした心理相談部門が、学生相談の一部門として組織された。それに伴い設置された「心理相談室 (兼心理学準備室)」にて、心理相談担当教員がカウンセリングや心理判定などの心理相談業務に当たってきた。

平成 11 年度からは心理相談担当教員が転出したため、学生心理相談は、学年ディレクターが担当することとなったが、青年期アイデンティティに関わる問題や対人的な悩み、不安、学習意欲減退などの心理相談で一応の効果あげている。

9 図 書 館

(1) 概 要

① 図書館の各種方針

本学の図書館機能は、その教育活動方針にのっとり、1) 学習支援、2) 研究支援、3) 地域の看護・福祉関係者への情報提供という 3 つの柱を基に構築されている。

第 1 の学習支援については、看護学関係の学習図書の実を考へ、次にその関連分野である医学、自然科学一般、統計学等に関する図書を整備してきた。また、豊かな人間性の涵養を目指して、文学など教養関連の書物、及び新聞と週刊・月刊の一般雑誌の導入を行った。これらの図書とは別に、ビデオ、LD、CD、カセットテープ及び CD-ROM などマルチメディア製品の購入を図った。

第 2 の研究支援では、看護学の学術情報、特に文献情報サービスの充実を図った。平成 11 年度現在で、図書館全体では 165 種類の各種雑誌を所蔵しているが、そのうち看護系

の雑誌は 75 種類を数えた。書誌情報誌としては、医学中央雑誌と日本看護関係文献集 International Nursing Index (INI)、Cumulative Index to Nursing & Allied Health Literature (CINAHL)を備えた。

第 3 の地域の看護・福祉関係者への情報提供という、開かれた図書館を目指しての活動は、従来の方針どおり、看護や福祉関係等の学外者の学習と研究支援を目的に、図書の閲覧と貸出を行った。平成 11 年度に新規登録をした学外者は 104 名であり、年々利用者が増加している。

② 情報検索システムの整備

図書、資料等の不足を補うため、次の機器・文献検索システム等を整備している。なお平成 11 年度は、利用者端末を 1 台増設し、インターネット接続も可能となった。

- ・ 国立情報学研究所とのオンライン文献検索 (NACSIS-IR)
- ・ 県立図書館とのオンライン書誌情報の検索
- ・ 県図書館協議会加盟各図書館との相互貸借
- ・ 医学中央雑誌 CD-ROM 版による検索 (LAN 仕様に更新)
- ・ 国立情報学研究所の "目録所在情報サービス" への参加

③ コンピュータシステムの活用

次の図書館業務の効率化を図るため、コンピュータを導入している。

- ・ 貸出原簿 ・ 利用者登録 ・ 蔵書管理 ・ 図書検索 ・ 原簿、目録の印刷
- ・ 統計処理 ・ 学内 LAN を利用しての文献コピーサービス受付

④ 開館延長時間の実施

昨年度に引き続き、非常勤嘱託員を雇用し月曜日から金曜日 (大学の休業日を除く) は、午後 7 時 30 分まで開館時間を延長し、また、土曜日 (祝祭日と大学の休業日を除く) も午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分まで開館して学生及び学外利用者の利便を図った。

(2) 今後の整備方針

当館は看護の専門図書館として、引き続き看護、医療関連の図書・学術雑誌の充実を図りたい。

(3) 蔵書構成

区 分	蔵 書 冊 数	雑 誌 種 類	視 聴 覚 資 料 点 数	
総 記	652	6	0	
哲 学	1,099	2	34	
歴 史	544	1	4	
社 会 科 学	4,046	15	77	
自 然 科 学	14,640	133	654	
技 術	505	4	21	
産 業	113	0	1	
芸 術	726	2	208	
言 語	1,151	1	5	
文 学	1,444	1	13	
計	24,920	165	1,017	
内 訳	和書	22,978	日本語	143
	洋書	1,942	外国語	22

(4) 図書館利用サービス

入 館 者 数	57,615 人 (内学外利用者 1,279 人)		
館外貸出	学 生	4,353 人	8,315 冊
	教職員・その他	893 人	2,120 冊
	計	5,246 人	10,435 冊
視 聴 覚 資 料	393 人	745 点	
学外者利用カード登録者数	316 人 (平成 12 年 3 月 31 日現在)		

その他

① 文献検索	CD-ROM 検索	129 件
	NACSIS-IR 代行検索	3 件
② 相互貸借業務	他館への依頼	434 件
	” からの受付	18 件

10 教員の研究・研修活動

(1) 研究業績

①論文

(本学教員は下線表示)

題 名	氏 名	雑誌名・巻(号)・頁	年	所 属
上越地域でのこれからの住宅	<u>杉田収</u> <u>関谷伸一</u> <u>安田かづ子</u> <u>小林恵子</u> <u>斎藤智子</u> <u>山際和子*</u> <u>西脇洋子</u> <u>佐々木美佐子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 5, 27-40	1999	*新潟県福祉保健部福祉保健課
Sural-lateral plantar nerve communications in Japanese macaque.	<u>Sekiya, S.</u>	Acta. Anat. Nippon74(6), 603-608	1999	
トライハウスの模型作製の試み	<u>関谷伸一</u> <u>杉田 収</u> <u>水戸美津子*</u> <u>西脇洋子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要. 5, 55-63	1999	*山梨県立看護大学
看護婦イメージに関する研究 (2)	<u>小林ミチ子</u> <u>和田佳子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 5, 9-16	1999	
コミュニケーション指導における学習者のパーソナリティとインターラクシオン	<u>中村博生</u>	新潟大学教育人間科学部英語学会 REUNION 31, 29-35	1999	
The Effect of Two Different Kinds of Repetition Drills on Japanese EFL Learners' Listening Ability: The Careful Colloquial Style and the Rapid Colloquial Style with Sound Changes	<u>中村博生</u>	大学英語教育学会紀要第 31号, 65-78	2000	

英語が好きになる動機づけとしての「癒され体験」－授業での「傷つき体験」と「癒され体験」の実態調査より－	<u>中村博生</u>	新潟県立看護短期大学人間科学研究会誌 人間科学研究 2, 75-91	2000	
ロールプレイを用いた授業の評価－成人看護学実習Ⅲ 手術を受ける患者の呼吸援助－	<u>小林優子</u> <u>山田正実</u> <u>太田和美</u>	新潟県立看護短期大学紀要 5, 65-79	1999	
心臓カテーテルによる検査及び治療を受ける患者へのオリエンテーションの実態調査－第2報－	<u>金子史代</u> <u>小野澤康子</u> <u>山田洋子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 5, 41-53	1999	
市販飲料中の抗酸化能の比較	<u>山田洋子</u> 石澤信人* <u>杉田収</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 5, 81-87	1999	*新潟大学 医学部検査 診断学
保健所保健婦のコンサルテーション機能	<u>小林恵子</u> <u>斎藤智子</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>平澤則子</u> <u>飯吉令枝</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 5, 89-102	1999	
「わたし」と「いやし」－消費社会における「癒し」とは－	<u>渡辺弘之</u>	新潟県立看護短期大学人間科学研究会誌 人間科学研究 2, 49-74	2000	
看護婦イメージに関する研究 (1)	<u>和田佳子</u> <u>小林ミチ子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 5, 3-8	1999	
産褥期のマタニティ・ブルーズに関する心理学的考察	松岡治子* 酒井規子** <u>和田佳子</u>	日本大学心理学研究 21, 74-80	2000	*群馬県立 医療短期大 学 **仙台市 児童相談所
術後イレウスの発症と日常生活との関連性に関する研究	<u>山田正実</u> <u>小林ミチ子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 5, 17-25	1999	

②著書

(本学教員は下線表示)

書名	監修・編集・著者名	分担執筆の題名	出版社・分担執筆頁	地名	年
2000年版保健婦・保健士国家試験 解答と解説	医学書院看護出版部 編集, <u>佐々木美佐子</u> ほか解答・解説	教科別 1994年(第80回)~1998年(第84回)保健婦・保健士国家試験 解答と解説 地域看護学 I 出題傾向と対策, 問題 1-48 地域看護学 II 問題 41, 5, 12, 13 保健福祉行政論 問題 3, 16, 29, 31, 33, 40 1999年(第85回)保健婦・保健士国家試験 解答と解説 問題 1-3, 5-9, 20, 28, 30, 47, 53-55	医学書院 32, 41-63 93, 163, 166, 167 246, 252, 258, 259, 260, 264 393, 394, 395, 396, 399, 400	東京	1999
健康と病気のしくみがわかる解剖生理学	<u>K.J.W. Wilson, A. Waugh</u> 著, 島田達生, 小林邦彦, 渡辺皓監訳, <u>関谷伸一</u> ほか翻訳	第2章「細胞, 組織, 身体の構成」	西村書店 19-48	新潟	2000
エアロビックダンス基礎理論ハンドブック第6版	池田美知子編著 <u>小林優子</u> ほか著	11章エアロビックダンスと栄養	教育インフォメーションサービス 22-25	埼玉	1999
生命と社会を考える	<u>渡辺弘之</u> 編集		頁ネーションシステム	上越	2000
ヘンダーソン, ロイ, オレム, ペプロウの看護論と看護過程	金子道子編著 <u>熊倉みつ子</u> , ほか著	普遍的セルフケア要件の理解 I. 十分な空気摂取の維持の概念 II. 十分な水分摂取の維持の概念 III. 十分な食物摂取の維持の概念	照林社 177-226	東京	1999

③学会発表

(本学教員は下線表示)

演 題 名	氏 名	発 表 学 会 名	発表年月日	発表地
枕元への患者引き上げの実態調査—従来の方法とベクトルの方法との比較—	清滝とも子 渡辺美保 <u>加藤光寶</u> ほか	第 19 回関東甲信越地区看護研究学会	1999.9.28	千葉市
退院後新生児の臍に関する調査	太田美智子 山本厚子 <u>加藤光寶</u> ほか	第 38 回全国自治体病院学会	1999.10.21	福岡市
在宅酸素療養生活に向けて入院中の看護ケアの検討—在宅酸素療法患者の実態調査を通して—	川崎松美 阿部明子 <u>加藤光寶</u> ほか	平成 11 年度新潟県看護協会看護研究発表会	1999.12.9	新潟市
ALS 患者の車椅子乗車に関する事例検討—人工呼吸器を装着し、全面介助を必要とする患者の場合—	福原信義 山田きよ子 月岡千秋 <u>加藤光寶</u> ほか	厚生省特定疾患・特定疾患の生活の質 (QOL) に関する研究班会議学会	1999.12.15	東京都
飲み物中の過酸化物の測定	<u>杉田 収</u> <u>山田洋子</u> ほか	第 39 回日本臨床化学学会	1999.9.30	京都市
CHP/Hb・MB法によるケルセチンとカテキンの測定	<u>杉田 収</u> <u>中野正春</u> ほか	第 46 回日本臨床病理学会	1999.11.12	熊本市
先天性臼蓋形成不全および亜脱臼症例の追跡調査から見た治療の必要性和超音波断層法による早期診断の経験	畠山征也 本間政文 <u>中野正春</u>	第 38 回小児股関節研究会	1999.6.26	仙台市
ニホンザルにおける腓腹神経と外側足底神経の交通	<u>関谷伸一</u>	第 15 回日本霊長類学会大会	1999.6.19	宮崎市
腓腹神経と脛骨神経間の交通枝の線維解析	<u>関谷伸一</u> ほか	第 105 回日本解剖学会全国学術集会	2000.3.29	横浜市

The Effect of Two Different Kinds of Repetition Drills on Japanese EFL Learners' Listening Ability: The Careful Colloquial Style and the Rapid Colloquial Style with Sound Changes	<u>中村博生</u>	第 12 回国際応用言語学会世界大会	1999.8.5	東京都
「高齢者への援助行動に関する研究—高校生を対象に—」	<u>塚田昌義</u> <u>小林優子</u>	第 14 回日本保健医療行動科学学会大会	1999.6.19	東京都
思春期のヘルスコンサーンに関する研究—養護教諭の認識との比較—	<u>小林優子</u> ほか	第 46 回日本学校保健学会	1999.11.28	名古屋市
心臓カテーテルを受けた患者の不安と苦痛の分析	<u>金子史代</u> <u>小野澤康子</u>	第 19 回日本看護科学学会	1999.12.4	静岡市
老人看護学実習の学習内容の分析—特別養護老人ホームにおける実習効果—	<u>水口陽子</u> <u>田中キミ子</u>	第 4 回日本老年看護学会学術集会	1999.11.13	松本市
里帰り分娩における夫の家事分担に関する実態	荒井正美 矢坂陽子 <u>小林美代子</u>	日本母性衛生学会第 40 回大会	1999.10.1	横浜市
分娩後の過ごし方と夫の家事分担に対する妻の意識	<u>小林美代子</u> ほか	日本母性衛生学会第 40 回大会	1999.10.1	横浜市
介護者 QOL (生活の質) の規定要因	<u>小林恵子</u>	日本家族看護学会第 6 回学術集会	1999.9.18	浜松市
コミュニティ・ミーティングの成果と課題	金子仁子 北山秋雄 米山奈奈子 <u>平澤則子</u>	第 58 回日本公衆衛生学会	1999.10.22	別府市

神経系難病の夫を持つ妻の生活の変化と心理的福利ーライフフォーの視点から高齢期の妻の支援を考えるー	<u>平澤則子</u>	第30回日本看護学会(老人看護)	1999.10.19	大宮市
看護学生の市町村実習における学びの検討ー実習記録の分析からー	<u>飯吉令枝</u> <u>斎藤智子</u> <u>佐々木美佐子</u>	日本地域看護学会 第2回 学術集会	1999.6.19	玉穂町
看護学生の対児感情に及ぼす母性看護実習の影響	<u>和田佳子</u> ほか	日本心理学会第63回大会	1999.9.6	名古屋市
看護教育における臨床実習指導に生かすデータベース作成の試み	<u>大久保明子</u> <u>飯吉令枝</u> ほか	第4回上越技術学会	1999.12.4	上越市
尿失禁の受診行動に及ぼす影響の実態調査	<u>太田和美</u>	平成11年度新潟県看護協会看護研究発表会	1999.12.9	新潟市
臨床現場における、実践に役立つカウンセリング実習プログラムの開発(第四報)	<u>飯田俊徳</u> <u>小室清子</u> <u>角田みすず</u> <u>岡村典子</u> ほか	第32回日本カウンセリング学会	1999.7.4	東京都
水分管理困難な透析患者に対する心理的アプローチ	<u>市川るみ子</u> <u>小野塚久美子</u> <u>宮澤成弘</u> <u>岡村典子</u>	第26回東北腎不全研究会	1999.8.29	弘前市
体位、ポジショニング・ピローの位置の違いによる体圧の変化ー仙骨部・大転子部をとりあげてー	<u>小竹佐智代</u> <u>菅原よしえ</u> <u>塚田貴子</u> <u>徳永恵子</u> <u>島田有子</u> ほか	第1回日本褥瘡学会学術集会	1999.9.4	東京都
圧受容体反射感受性と身体活動度の定量的検討について	<u>島田有子</u> ほか	第4回聖路加看護学会学術大会	1999.9.25	東京都

④総説

題名	氏名	雑誌名・巻(号)・頁	年
痛みのある患者への看護の実際—体位・肢位による痛み；その緩和の技術	加藤光寶	看護技術 45(5), 56-60	1999
ナースの職業病・腰痛の予防法	加藤光寶	エキスパートナース 15(4), 60-63	1999
尿中 N-アセチル-β-Dグルコサミニダーゼ	杉田 収	日本臨床 57 巻増刊号, 128-130	1999
酵素結合性免疫グロブリン	杉田 収	日本臨床 57 巻増刊号, 225-227	1999
N-アセチル-β-Dグルコサミニダーゼ	杉田 収	日本臨床 57 巻増刊号, 454-457	1999
少子社会日本における Reproductive health/rights の課題 (その2)	川崎佳代子 曾我部美恵子 早川有子 <u>渡邊典子</u> ほか	自治医科大学看護短期大学紀要 7, 47-57	1999

(2) その他報告・随想など

(本学教員は下線表示)

題名	氏名	掲載雑誌名・その他	年
椎間板ヘルニア患者の看護	<u>加藤光寶</u> <u>秋山智弥</u> <u>小林優子</u> <u>山田正実</u> <u>太田和美</u>	クリニカルスタディ 20(11), 17-27	1999
対談 今年の国家試験をめぐって	<u>加藤光寶</u> ほか	看護教育 40(7), 508-519	1999
対談 今年の国家試験をめぐって	<u>加藤光寶</u> ほか	医学教育情報誌「エヌ」 16	1999
日本における看護教育の現状と課題	<u>加藤光寶</u>	第 4 回日・米短期大学国際交流セミナー	1999
日本における看護教育の現状と課題	<u>加藤光寶</u>	全国公立短期大学協会 公短協第 37 号	1999
バスにふれて 病棟間交流がもたらしたものの⑧在院日数短縮後の反省と確立	<u>加藤光寶</u>	看護管理 9(3), 216-220	1999

保健所保健婦の市町村保健活動支援におけるコンサルテーション機能の調査	<u>佐々木美佐子</u> <u>矢坂陽子</u> <u>小林恵子</u> <u>平澤則子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>齋藤智子</u>	平成 10 年度新潟県立看護短期大学 共同研究 保健所保健婦の市町村保 健活動支援におけるコンサルテーシ ョン機能の調査報告書	1999
在院日数が短くなるほど、行動科学を用いた患者指導が必要です	<u>小林優子</u>	エキスパートナース 15(10), 73	1999
国試を乗り越える秘訣 栄養バランスに気をつけて	<u>小林優子</u>	クリニカルスタディ 21(1), 72-73	1999
国試を乗り越える秘訣 ウォーキングのすすめ 外の空気を吸ってみよう	<u>小林優子</u>	クリニカルスタディ 21(1), 74	1999
国試必勝のための“べからず 10” 国家試験をなめてはいけない!	<u>小林優子</u>	クリニカルスタディ 21(1), 75	1999
コペンハーゲン市立病院<老年科>視察報告	<u>水口陽子</u>	第 7 回高齢者福祉視察の旅報告書： だれにも『居場所』がある国へ，日 野社会教育センター，29-31	1999
仲間に恵まれてデンマーク再訪	<u>水口陽子</u>	第 7 回高齢者福祉視察の旅報告書： だれにも『居場所』がある国へ，日 野社会教育センター，58-59	1999
ヴォア・フルー・プライエム	<u>水口陽子</u> ほか	第 7 回高齢者福祉視察の旅報告書： だれにも『居場所』がある国へ，日 野社会教育センター，19-20	1999
ヴォア・フルー・プライエム体験ステイ	<u>水口陽子</u> ほか	第 7 回高齢者福祉視察の旅報告書： だれにも『居場所』がある国へ，日 野社会教育センター，21-25	1999
デンマークの在宅ケアサービスの現状に関する報告ーロスキレ市の高齢者福祉施設の視察より（第 2 報）ー	<u>水口陽子</u> <u>田中キミ子</u> <u>山田洋子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 5, 111- 122	1999

神経系難病の夫を介護する妻の心理的 福利からみた援助の課題	<u>平澤則子</u>	第30回日本看護学会論文集 老人 看護, 18-20	2000
快適住まい環境研究会報告 第4報 一住むことから「住居」を考える一	<u>安田かづ子</u> <u>杉田 収</u> <u>関谷伸一</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>小林恵子</u> <u>齋藤智子</u> <u>西脇洋子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 5, 103- 109	1999
アメリカにおける医療の変革に対する 大学看護教育の現状と課題	<u>山田正実</u> <u>加藤光寶</u> <u>秋山智弥</u> <u>小林ミチ子</u> <u>小林優子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 5, 123 - 127	1999

(3) 講演及び研修会講師

題 名	氏 名	講 演 会 名	年 月 日	場 所
看護研究 ①②③	加藤光寶	国立犀潟病院看護部 研修	1999.5.10, 8.25,10.27	大潟町
関わり技法	加藤光寶	青森県看護協会 平 成 11 年度ステップ アップⅡレベル研修 会	1999.7.16	青森市
リーダーシップ ①②	加藤光寶	悠久荘看護部リーダ ーシップ研修	1999.5.20, 2000.2.23	長岡市
看護過程 ①②	加藤光寶	知名堂病院看護部研 修	1999.6.3, 6.11	上越市
看護研究 ①②③	加藤光寶	県立柿崎病院看護部 研修	1999.5.28, 12.1,2000. 2.5	柿崎町

事例検討	加藤光寶	新潟県福祉保健部平成 11 年臨地実習指導者研修会	1999.7.27	上越市
「看護論」ヘンダーソンを中心に	加藤光寶	新潟県厚生農業協同組合連合会・看護教育研修Ⅱ	1999.8.4	長岡市
看護カリキュラムの変遷	加藤光寶	新潟労災病院看護部研修	1999.9.9	上越市
実習指導の方法①②③④	加藤光寶	新潟県福祉保健部平成 11 年度実習指導者養成講習会	1999.9.17, 9.24, 10.1, 10.8	新潟市
看護研究①②③④⑤	加藤光寶	見附市成人病センター病院看護部研修	1999.9.10, 12.4, 2000.1.15, 2.19, 3.4	見附市
積極的傾聴法 関わり技法	加藤光寶	新潟南病院看護部研修	1999.10.16	新潟市
看護研究講評	加藤光寶	看護協会三条地区協会研究学会	1999.3.4	三条市
障害者・高齢者に快適な住まいづくり	杉田 収	上越市視覚傷害者福祉協会	1999.10.31	上越市
上越市の住まいとまちづくり	杉田 収	環境と共生する住まい・まちづくりフェスティバル	1999.3.25	上越市
障害・疾病の理解	中野正春	平成 11 年度新潟県ホームヘルパー養成研修 2 級課程	1999.12.17 2000.1.14	上越市
実習指導の実際(在宅看護論実習)	佐々木美佐子	新潟県福祉保健部平成 11 年度実習指導者養成講習会	1999.9.28	新潟市

ホームヘルプサービスに関する知識と 方法 介護概論	佐々木美佐子	浦川原村ホームヘル パー養成研修 3 級課 程	1999.10.28	浦川原 村
保健所と市町村が行う保健事業と保健 婦・士活動の展開	佐々木美佐子	新潟県保健福祉部 平成 11 年度市町村 保健婦・士等新任者 研修会	1999.10.29	新潟市
実技講習 共感的理解と基本的態度の形成	佐々木美佐子	浦川原村ホームヘル パー養成研修 3 級課 程	1999.11.4	浦川原 村
看護の現場から	佐々木美佐子	新潟東社会保険事務 所職員研修	1999.12.8	上越市
地域保健と学校保健の連携	佐々木美佐子	新潟大学養護教諭特 別別科養護教育実践 研究	1999.12.17	新潟市
在宅看護論実習 —実習指導の実際と課題—	佐々木美佐子	新潟県保健福祉部 在宅看護論実習指導 者研修会	1999.2.10	新潟市
もし突然介護を必要とする家族が出た ら	佐々木美佐子	上越市南城 4 丁目町 内会健康講座	1999.2.16	上越市
介護の現状とジェンダー	佐々木美佐子	大潟町 2000 年セミ ナー	1999.3.1	上越市
寝たきりにしない, ならないために	佐々木美佐子	新潟県立中央病院 地域活動推進事業	1999.3.8	上越市
看護の心	長野 勝	国立埼玉病院附属看 護学校 講演会	2000.3.8	和光市

研究のまとめ方	小林優子	厚生連刈羽郡総合病院看護部教育委員会研修会	1999.6.30	柏崎市
調査研究の方法 t 検定と χ^2 乗検定の使い方	小林優子	厚生連刈羽郡総合病院看護部教育委員会研修会	1999.12.8	柏崎市
ひとがひとに関わるということ	秋山智弥	国立療養所犀潟病院看護部講演会	1999.5.	大潟町
看護研究における研究計画書の書き方	秋山智弥	新潟県立新発田病院看護部研修会	1999.6.5	新発田市
プライマリーナーシングを支えるもの	秋山智弥	新潟県立中央病院高等看護学校同窓会講演会	1999.7.3	上越市
プライマリーナーシングを支えるもの (1) (2)	秋山智弥	国立療養所東埼玉病院看護部講演会	1999.7.14 1999.9.2	蓮田市
医療の基礎知識	秋山智弥	上越市老人介護講習会 (ヘルパー3 級対応コース)	1999.8.31	上越市
老人の心理	秋山智弥	上越市老人介護講習会 (ヘルパー3 級対応コース)	1999.8.31	上越市
老年期精神科看護概論	秋山智弥	国立療養所犀潟病院老人性痴呆疾患対策研修	1999.10.5	大潟町
実習指導の実際(成人看護学実習) 講義	金子史代	新潟県福祉保健部平成 11 年度実習指導者養成講習会	1999.10.19	新潟市
実習指導の実際(成人看護学実習) 演習	金子史代	新潟県福祉保健部平成 11 年度実習指導者養成講習会	1999.10.18 .21,25-28	新潟市

看護研究のまとめ	金子史代	新潟県済生会三条病院 看護部研修	1999.8.3-4, 9.23, 2000.3.31	三条市
病気の子どもの世話	秋山啓子	保育サポーター養成講座	1999.7.13	上越市
実習指導の実際(小児看護学実習) 講義	秋山啓子	新潟県福祉保健部平成 11 年度実習指導者養成講習会	1999.10.8	新潟市
実習指導の実際(小児看護学実習) 演習	秋山啓子	新潟県福祉保健部平成 11 年度実習指導者養成講習会	1999.10.18 -29	新潟市
実習指導の実際(在宅看護論実習) 演習	小林恵子	新潟県福祉保健部平成 11 年度実習指導者養成講習会	1999.10.18 -28	新潟市
コミュニティ・ミーティングの手法を学ぶ パート1「ヘルスプロモーションの理念を実践活動に生かすためのコミュニティ・ミーティングの手法について」	平澤則子	上越保健所保健婦業務研究会	1999.4.23	上越市
コミュニティ・ミーティングの実際1, 2	平澤則子	新井市栄養教室	1999.7.16 1999.8.18	新井市
ヘルスプロモーションの理念を実践活動に生かすためのコミュニティ・ミーティングの手法について	平澤則子	上越・糸魚川保健所管内行政栄養士業務研修会	1999.8.10	上越市
コミュニティ・ミーティングの理論と実際	平澤則子	上越地区協会保健婦職能研修会	1999.11.6	三和村
コミュニティ・ミーティングの手法を学ぶ パート2「コミュニティ・ミーティングから施策化へ」	平澤則子	上越保健所保健婦業務研究会	2000.2.18	上越市

在宅支援の中で難病ボランティアに期待すること	平澤則子	上越保健所難病ボランティア研修会	2000.3.22	上越市
思春期のころ	渡邊典子	思春期保健相談事業 集団指導講演会	1999.6.11	新潟市
母と子の健康について	渡邊典子	上越市立公民館すくすく子育てセミナー	1999.9.16	上越市
福祉理念とケアサービスの意義	渡辺弘之	新潟県ホームヘルパー養成研修(2級課程)	1999.12.14	上越市
思秋期を素適に過ごす為に考えたいこと	安田かづ子	六日町保健所健康教室	1999.4.30	六日町
高齢化社会に向かって一思秋期を自分らしく	安田かづ子	郵政省簡易保険事業 かんぽ介護教室	1999.6.5	糸魚川市
思秋期をゆたかに・・・尿失禁体操も	安田かづ子	株式会社大和上越店 友の会健康教室	1999.6.12	上越市
思秋期をゆたかに・・・尿失禁体操も	安田かづ子	株式会社大和長岡店 友の会健康教室	1999.6.13	長岡市
親子で考えよう！私たちの命！	安田かづ子	春日小学校第4学年 PTA行事「性教育講演会」	1999.6.19	上越市
30代からの性、より素適に過ごすために	安田かづ子	西川町保健委員研修会	1999.6.27	西川町
ほかほか体操で更年期から幸年期へ	安田かづ子	新潟県看護協会六日町地区協会研修会	1999.10.23	六日町

尿失禁とその予防	安田かづ子	大和町更年期女性健康講座「からっと教室」	1999.11.6	大和町
更年期からの病気の予防と対処—尿失禁予防のための体操	安田かづ子	上越保健所生涯を通じた女性の健康支援事業「健康教育事業」	1999.12.22	浦川原村
思秋期をゆたかに、そして素適に過ごすために	安田かづ子	巻保健所管内母子保健推進員研修会	2000.3.5	燕市
看護理論	熊倉 みつ子	栃木県看護協会平成 11 年度看護理論研修会	1999.7.19	宇都宮市
看護論 I	熊倉 みつ子	栃木県看護協会平成 11 年度ファーストレベル研修会	1999.7.30-31,8.17-18	宇都宮市

(4) 学会及び社会での活動

氏 名	事 項	就 任 年
小野澤康子	日本サイコオンコロジー学会世話人	1997～
田中キミ子	テレトピア・在宅看護研究会委員長	1998～
杉田 収	日本電気泳動学会評議員	1975～
	日本自動化学会評議員	1975～
	生物試料分析学会評議員	1991～
	日本臨床病理学会評議員	1991～
	日本臨床化学会評議員	1992～
	日本臨床化学会甲信越支部長	1997～
	上越市人にやさしいまちづくり推進計画策定委員会委員	1999～
	新井市住宅マスタープラン策定委員会委員	1999～
中野正春	新潟地域留学生等交流推進会議運営委員会委員	1996～
佐々木美佐子	上越在宅ケア研究会幹事	1996～
	全国保健婦教育機関協議会理事	1997～
	上越市介護保険事業計画策定委員会副委員長	1998～
	新潟県介護保険審査会委員	1999～
中村博生	関東甲信越英語教育学会理事	1990～
山本澄子	日本看護学会(看護教育)抄録選考委員	1999～

水口陽子	テレトピア・在宅ケア研究会委員	1998～
小林恵子	上越市美しいまちづくり環境アドバイザー	1998～
	上越市住まい・まちづくりワークショップ 委員	1999～
	上越市民ごみ憲章制定に係る検討委員会副委員長	1999～
平澤則子	日本看護協会先駆的保健活動普及推進小委員会委員	1999～
	糸魚川市高齢者心とからだの健康作り検討委員会アドバイザー	1998～
渡邊典子	新潟県看護協会思春期電話相談委員	1998～
熊倉 みつ子	全国膠原病友の会栃木県支部役員	1979～
岡村典子	財団法人全国農村保健研修センター 臨床心理カウンセリング研究会認定 ファシリテーター	1999～

(5) 教員海外研修

氏名	研修テーマ	研修地名	期間
加藤光賢	第4回日・米短期大学国際交流ゼミナール	米国・ホノルル	1999.6.20-25
田中キミ子	第6回国際セルフケア看護理論学会	タイランド・バン コク	2000.2.11-13
渡辺弘之	東南アジアにおける大都市の下層就業層の形成 過程	ベトナム・ホーチ ミン カンボジア・プノ ンペン	1999.7.24- 1999.9.8

(6) 共同研究(本学共同研究事業費による)

(本学教員は下線表示)

題名	研究者名	所属	研究開始年	期間
リウマチ疾患患者の退院受容に影響 する要因に関する研究	<u>加藤光賢</u> <u>小林ミチ子</u> 渋谷正子*	* 県立瀬波病院	1998年	2年
心臓カテーテル検査後の出血に及ぼ す要因	<u>加藤光賢</u> 吉田郁* 佐藤誠美* 橋本亜紀* 大石根久子*	* 心臓血管研究所附属 病院看護部	1999年	2年
股関節手術患者の排泄の自立の検討	<u>加藤光賢</u> 吉田奈苗* 国分ノリ子*	* 東京大学医学部附属 病院	1999年	1年

老年者のコミュニケーション特性に関する研究	<u>田中キミ子</u> <u>水口陽子</u>		1999年	2年
新しい抗酸化能測定法の開発	<u>杉田 収</u> <u>中野正春</u> 石澤信人* 岡田正彦* 松戸隆之*	*新潟大学医学部検査 診断学	1998年	3年
助産婦教育における分娩実習の指標の検討	<u>中野正春</u> <u>渡辺典子</u> 村山陵子*	*埼玉県立大学	1998年	2年
訪問看護ステーションの教育ニーズに関する研究	<u>佐々木美佐子</u> 矢坂陽子* <u>小林恵子</u> <u>平沢則子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>斎藤智子</u> <u>熊倉みつ子</u>	*新潟県上越テクノス クール	1999年	2年
市町村保健活動における保健所の地域コンサルテーション機能に関する研究	<u>佐々木美佐子</u> 矢坂陽子* <u>小林恵子</u> <u>平沢則子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>斎藤智子</u>	*新潟県上越テクノス クール	1999年	1年
現代人の生き方に見られる「癒し」の特質について	<u>中村博生</u> <u>渡辺弘之</u> 山本誠一*	*宇都宮大学	1999年	1年
看護職のメンタルヘルスと関連要因に関する研究	<u>小林優子</u> <u>和田佳子</u> <u>秋山智弥</u> <u>加藤光寶</u>		1999年	1年
これからの新生児訪問のありかた	<u>小林美代子</u> 矢坂陽子* <u>安田かづ子</u>	*新潟県上越テクノス クール	1999年	2年

女性ヘルスプロモーションと性に関する研究	<u>平澤則子</u> <u>小林美代子</u> <u>安田かづ子</u> <u>矢坂陽子*</u> <u>小林恵子</u> <u>齋藤智子</u>	*新潟県上越テクノスクール	1999年	1年
在宅ケアを支える『住まい環境』の改善に関する研究	<u>安田かづ子</u> <u>杉田収</u> <u>関谷伸一</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>小林恵子</u> <u>西脇洋子</u> <u>齋藤智子</u> <u>水戸美津子*</u>	*山梨県立看護大学	1997年	3年

11 大学の公開

(1) 公開講座

本学は、広く県民に健康と看護に関する知識の普及と地域の看護関係者の資質の向上に寄与することを目的とし、一般県民を対象とした一般公開講座と看護に関する職業に従事する者を対象とした専門公開講座の2講座を実施した。

① 専門公開講座

- ・テーマ 「看護研究の基礎」

基礎的な看護研究のプロセスを体験し、看護現場における問題解決に役立てる。

- ・受講者 40人

- ・日程及び内容

日	時間	内容	講師
第1日目 7/28 (木)	9:00~ 9:15	開講式オリエンテーション	学長 齋藤秀晃
	9:15~ 9:45	「公開講座開催にあたって」	看護学科長 加藤光實
	10:00~11:00	演習「Windows95(Word/Excel)の 基本操作」	嘱託員 関根加代子
	11:00~12:00	演習「統計ソフトHALBAUの基本 操作」	教授 小野沢康子
		<グループワーク>	8グループ編成
	13:00~14:00	演習「データの入出力」	1 加藤学科長 渡邊(典)講師 山本助教授 太田助手
	14:15~16:15	演習「データ分析と図表の作成」	2 小野沢教授 飯吉講師 金子講師 福原助手
	16:00~17:00	演習「グループワークのまとめ」	3 田中教授 安田講師 秋山(啓)講師
第2日目 7/29 (木)		<グループワーク>	
	9:00~10:30	演習「データ分析と図表の作成」	4 佐々木教授 熊倉講師 山田(洋)講師 島田助手
	10:45~12:00	演習「報告資料の作成」	5 長野助教授 和田講師 水口講師
	13:00~14:15	演習「報告資料の作成」	6 小林(ミ)助教授 山田(正)講師 小林(美)講師 布施助手
	14:30~15:15	演習「グループワークのまとめ」	
	15:30~16:00	本学助手のまとめ	7 小林(優)助教授 大久保助手 小林(恵)講師 高塚助手
	16:00~16:45	閉講式 修了証書授与	8 秋山(智)助教授 齋藤助手 平澤講師 馬場嘱託員

② 一般公開講座

- ・テーマ 『あなたの骨は大丈夫？』
- ・講演 教授 中野 正春
- ・受講者 100人
- ・日程 平成11年11月20日(土)
- ・会場 新潟県立看護短期大学 第1合同講義室

12 学生自治会 《平成6年5月30日設立》

(1) 大学祭『桜桃祭』開催

- ・日時：平成11年11月20日(土)
- ・来校者：約700人
- ・テーマ：「体力測定・健康チェック」
「研究発表……住まい研究会」
「健康教室」
「活性酸素について……水研究会」
「献血事業」
- ・一般公開講座：「あなたの骨は大丈夫？」

(2) サークル活動

サークル名

- | | |
|-------------|--------------|
| ・バトミントン | ・ソフトテニス |
| ・バスケットボール | ・N C - N E T |
| ・もしもし亀さん応援団 | ・バレーボール |
| ・快適住まい環境研究会 | ・ボランティア |
| ・水研究会 | ・合唱サークル |
| ・エアロビクス | |

資 料

主要行事日誌

4月1日(木)	辞令交付…教員6名採用、事務職員3名転任
6日(木)	第6回入学式
7日(木)～8日(木)	在学生ガイダンス、学生健康診断前期授業開始、入学生健康診断
8日(木)～9日(金)	入学生ガイダンス…学内及び国立妙高少年自然の家で実施
23日(金)	全国公立短期大学協会医療看護系協議会事務局長部会(本学当番) …斎藤学長、田中事務局長、田中総務課長、 杉田副参事、本間主任出席
5月7日(金)	第4回戴帽式
8日(土)	開学記念日
25日(木)～26日(木)	全国公立短期大学協会第49回通常総会 …京都市で開催 斎藤学長、田中事務局長、 田中総務課長、杉田副参事、本間主任出席
6月1日(木)	辞令交付…教員1名採用
10日(木)～11日(金)	第60回関東ブロック公立短期大学協議会(本学当番) …上越市で開催、斎藤学長、田中事務局長、 田中総務課長、杉田副参事、本間主任出席
7月7日(木)	大学説明会……県内の高校33校参加
11日(日)	夏季休業
～8月31日(木)	
15日(木)～16日(金)	全国公立短期大学協会事務職員中央研修会議
15日(木)～16日(金)	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
22日(木)～23日(金)	第27回全国公立短期大学協会医療看護系協議会(本学当番) …新潟市で開催 斎藤学長、田中事務局長、加藤看護学科長 小野沢教授、田中教授、杉田教授、中野教授、佐々木教授 関谷教授、長野助教授、小林助教授、秋山助教授、 田中総務課長、杉田副参事、本間主任出席
27日(木)	全国公立短期大学協会関東ブロック担当者会議
28日(木)～29日(木)	専門公開講座
30日(金)	県立看護大学設立準備説明会
31日(土)	年報第4号発行
8月5日(木)	学校説明会……高校生72名参加
19日(木)	学校説明会……高校生90名参加
26日(木)	学校説明会……高校生39名参加
26日(木)～27日(金)	全国公立短期大学協会事務局長会議・幹部研修会…田中総務課長
9月6日(月)～28日(木)	前期試験
29日(木)～30日(木)	1年生解剖見学…新潟大学医学部で人体解剖見学

10月1日(金)	後期授業開始
4日(月)	県立看護大学設立準備説明会
5日(火)~6日(水)	公立医療看護系短期大学事務局長会議…田中事務局長出席
14日(木)	全国公立短期大学協会学長会…斎藤学長出席
19日(火)	消防計画に基づく総合訓練実施
20日(水)	第6回大学運営懇談会
11月4日(木)~10日(木)	専攻科推薦入試願書受付…応募者58人
15日(月)~19日(金)	看護学科推薦入試願書受付…応募者106人
20日(土)	大学祭、一般公開講座
28日(日)	専攻科推薦入試日………受験者58人
12月1日(木)	紀要第5巻発行
3日(金)	専攻科推薦入試合格発表…合格者29人
6日(月)	学長候補者選挙投票日
12日(日)	看護学科推薦入試日………受験者106人
16日(木)~22日(木)	専攻科一般入試願書受付…応募者130人
17日(金)	看護学科推薦入試合格発表…合格者30人
21日(火)	冬季休業
~1月10日(月)	
22日(木)	上越財務事務所出納課指導検査
1月17日(月)~21日(金)	看護学科一般入試願書受付…応募者354人
21日(金)	国立短期大学協会会議…公短協副会長として斎藤学長出席
23日(日)	専攻科一般入試日………受験者106人
28日(金)	専攻科一般入試合格発表…合格者23人
2月8日(火)~15日(火)	専攻科後期試験
8日(月)	大学移行に係る教員説明会
8日(火)~18日(金)	看護学科後期試験
24日(木)	保健婦国家試験
25日(金)	看護学科一般入試日………受験者260人
25日(金)	助産婦国家試験
27日(日)	看護婦国家試験
28日(月)~29日(火)	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
3月3日(金)	看護学科一般入試合格発表…合格者72人
10日(月)	上越財務事務所備品等現物確認検査
14日(火)	第4回卒業式・第3回修了式
21日(火)~31日(金)	春季休業
23日(木)	県立看護大学設立検討委員会…斎藤学長出席 " 企画委員会…加藤看護学科長出席
31日(金)	退職辞令交付…3名

教授会・委員会の活動

(1) 教授会の活動

- 第 1 回 (11. 4. 5) ・平成 11 年度主要推進事項について
- 第 2 回 (11. 4. 19) ・協議事項なし
- 第 3 回 (11. 5. 10) ・平成 11 年度主要推進事項について
・奨学生の選考について
・学生の退学について
- 第 4 回 (11. 6. 7) ・専攻科の学外実習配置表について
・平成 12 年度学生募集要項について
・大学説明会について
・学校案内パンフレットの作成について
・平成 11 年度専門公開講座の実施について
・学生の退学について
- 第 5 回 (11. 7. 5) ・前期試験時間割りにについて
・看護学科 2 年生後期実習配置表について
- 第 6 回 (11. 7. 30) ・協議事項なし
- 第 7 回 (11. 9. 13) ・2 年生基礎看護学実習配置表について
- 第 8 回 (11. 10. 4) ・学則及び履修規程の改正について
・施設管理規程の改正について
・平成 12 年度学年暦 (案) について
・学生の復学について
- 第 9 回 (11. 11. 1) ・学長選挙管理委員会の設置及び委員の選出について
・学長選挙規程の改正について
・紀要執筆要項の改正について
- 第 10 回 (11. 12. 2) ・平成 12 年度専攻科推薦入学者選考試験合格者の決定について
- 第 11 回 (11. 12. 6) ・協議事項なし
- 第 12 回 (11. 12. 9) ・学長候補者の決定について
- 第 13 回 (11. 12. 16) ・平成 12 年度看護学科推薦入学者選考試験合格者の決定について
- 第 14 回 (12. 1. 17) ・平成 11 年度後期試験時間割りにについて
- 第 15 回 (12. 1. 27) ・平成 12 年度専攻科一般入学者選考試験合格者の決定について
- 第 16 回 (12. 2. 7) ・平成 12 年度時間割りにについて
・平成 12 年度ガイダンス及び健康診断について
- 第 17 回 (12. 3. 2) ・平成 12 年度看護学科一般入学者選考試験合格者の決定について
・卒業・修了判定について
- 第 18 回 (12. 3. 6) ・平成 12 年度各種委員会及びクラスディレクターの構成について
・実習配置計画について
- 第 19 回 (12. 3. 9) ・卒業・修了判定について

- 第 20 回 (12. 3. 17)
 - ・進級判定について
 - ・平成 12 年度各種委員会構成員の追加について
 - ・退学について

(2) 各委員会の活動

① 企画委員会

- 第 1 回 (11. 4. 2)
 - ・企画委員会正副委員長について
 - ・コンピューター部会について
- 第 2 回 (11. 4. 12)
 - ・平成 11 年度主要推進事項について
 - ・施設利用の見直しについて
 - ・平成 11 年度 (第 27 回) 全国公立短期大学協会医療看護系協議会教員部会について
- 第 3 回 (11. 5. 17)
 - ・自己点検・評価報告書について
 - ・公短協医療看護系協議会総会の役割分担について
 - ・公的ホームページの公開報告について
 - ・学内施設利用に関するアンケート結果について
 - ・本学ホームページに関する事項について
- 第 4 回 (11. 7. 12)
 - ・学外研修について
 - ・学内施設利用に関するアンケート結果について
 - ・条例改正 (入学料) について
 - ・消耗品の一括購入について
 - ・本学助産学修了者で、地域看護学専攻科学生の単位修得について
 - ・授業用機器・器具の購入について
- 第 5 回 (11. 9. 13)
 - ・学則及び履修規程の改正について
 - ・施設管理規程の改正について
 - ・紀要執筆要項の改正について
 - ・新入学生学外ガイダンスについてのアンケート結果について
 - ・学外研修について
- 第 6 回 (11. 10. 18)
 - ・学長選考規程の改正について
 - ・紀要執筆要項の改正について
 - ・学長選挙管理委員の推薦について
 - ・NCN-net 新システムの構築等について
- 第 7 回 (11. 11. 8)
 - ・ホームページの運用について
- 第 8 回 (11. 12. 13)
 - ・平成 12 年度予算要求について
 - ・条例及び学則実施細則の改正について (証明書交付手数料関係)
 - ・卒業証書・修了証書の作成について

- 第 9 回 (12. 1. 24)
 - ・卒業式・修了式について
 - ・条例及び学則実施細則の改正について
 - ・ツベルクリン反応検査の実施について
- 第 10 回 (12. 2. 14)
 - ・平成 12 年度の各委員会・クラスディレクターについて
 - ・平成 12 年度の予算内示状況について
 - ・平成 12 年度入学式について
 - ・平成 12 年度看護学科長の講義等の分担について (追加)
- 第 11 回 (12. 2. 18)
 - ・平成 11 年度教材費共通プール分の配分について
 - ・公的ホームページと公的外ホームページのリンクについて
- 第 12 回 (12. 3. 13)
 - ・平成 12 年度教育研究費の配分について
 - ・平成 12 年度教材費の配分について
 - ・自己点検・評価の原稿について
 - ・公的ホームページと公的外ホームページのリンクについて

② 教務委員会

- 第 1 回 (11. 4. 2)
 - ・委員長、副委員長選出
 - ・定例委員会と書記順について
- 第 2 回 (11. 4. 19)
 - ・委員会活動の年間予定について
 - ・選択科目の履修届について
 - ・学生の退学申請について
- 第 3 回 (11. 5. 13)
 - ・単位認定・成績評価について
 - ・学生の退学申請について
 - ・履修届出状況について
 - ・試験監督の手順について
 - ・試験時間について
- 第 4 回 (11. 6. 21)
 - ・保健体育の集中授業について
 - ・前記試験日程案と後期実習配置について
 - ・単位認定・成績評価について
- 第 5 回 (11. 7. 21)
 - ・単位認定・成績評価について
 - ・平成 12 年度学年暦について
 - ・平成 11 年度看護過程演習について
- 第 6 回 (11. 9. 13)
 - ・平成 12 年度学年暦について
 - ・平成 12 年度非常勤講師について
 - ・複数講師が担当する成績評価について
- 第 7 回 (11. 10. 25)
 - ・単位認定申請について
 - ・後期選択科目の履修変更届状況について
- 第 8 回 (11. 11. 22)
 - ・前期試験結果について
 - ・平成 12 年度時間割について
 - ・平成 12 年度学年暦の変更について

- 第 9 回 (11. 12. 20)
 - ・平成 12 年度非常勤講師について
 - ・平成 11 年度後期試験時間割について
 - ・平成 12 年度時間割作成について
- 第 10 回 (12. 1. 24)
 - ・平成 12 年度時間割作成について
 - ・保健体育(実技)冬季集中講義計画について
 - ・結核への対応について
- 第 11 回 (12. 2. 22)
 - ・平成 12 年度時間割について
 - ・平成 12 年度臨床実習配置表について
 - ・平成 12 年度非常勤講師について
 - ・平成 11 年度卒業認定について
- 第 12 回 (12. 3. 9)
 - ・平成 11 年度進級判定について
 - ・学生の退学申請について

③ 学生委員会

- 第 1 回 (11. 4. 2)
 - ・委員長、副委員長の選出及び委員会開催日程について
 - ・学外ガイダンス全体打ち合わせについて
- 第 2 回 (11. 4. 26)
 - ・平成 11 年度ガイダンスの総括について
 - ・平成 11 年度の保健室管理について
 - ・奨学金の手続き、授業料の減免について
 - ・施設開放アンケートについて
 - ・サークル活動について
- 第 3 回 (11. 5. 7)
 - ・平成 11 年度の奨学生選考について
- 第 4 回 (11. 5. 31)
 - ・学生の健康診断の結果概要について
 - ・自己点検・自己評価について
 - ・学外ガイダンス教員アンケートの実施について
 - ・奨学金の手続きの最終結果について
 - ・授業料の減免申請状況について
 - ・サークル活動について
- 第 5 回 (11. 6. 28)
 - ・自己点検・自己評価について
 - ・新入生学外ガイダンスについてのアンケート結果
 - ・夏季休業中の生活指導について
- 第 6 回 (11. 7. 26)
 - ・自己点検・自己評価について
 - ・平成 12 年度新入生学外ガイダンスについて
 - ・平成 11 年度「大学祭」のスケジュールについて
 - ・施設解放アンケートについて
- 第 7 回 (11. 9. 27)
 - ・自己点検・自己評価について
 - ・平成 11 年度「大学祭」の計画概要について
 - ・平成 12 年度学内・学外ガイダンスについて

- 第 8 回 (11. 10. 25)
 - ・施設解放アンケートについて
 - ・平成 11 年度「大学祭」の概要について
 - ・日本育英会 2 次募集及び後期授業料減免について
 - ・4 年制大学設立に向けての学生委員会の役割
- 第 9 回 (11. 11. 22)
 - ・平成 11 年度「大学祭」の総括について
 - ・4 年制大学設立に向けての学生委員会からの要望
 - ・食堂委員会の開催及びアンケートの実施について
- 第 10 回 (11. 12. 10)
 - ・食堂の方と学生委員との話し合い
- 第 11 回 (12. 1. 31)
 - ・平成 12 年度学外・学内ガイダンスについて
- 第 12 回 (12. 2. 22)
 - ・平成 12 年度学外・学内ガイダンスについて
 - ・保健室利用状況取りまとめについて
- 第 13 回 (12. 3. 27)
 - ・平成 12 年度学外・学内ガイダンスについて
 - ・保健室利用状況取りまとめについて
 - ・平成 11 年度学生委員会総括について

④ 入試委員会

- 第 1 回 (11. 4. 2)
 - ・委員長、副委員長選出
 - ・定例会日の決定について
- 第 2 回 (11. 4. 12)
 - ・平成 11 年度入試日程について
 - ・入試委員の役割分担について
 - ・推薦入試枠の見直しについて
- 第 3 回 (11. 5. 24)
 - ・大学説明会について
 - ・学校案内パンフレットについて
 - ・大学案内について
 - ・推薦枠の見直し検討について
- 第 4 回 (11. 5. 31)
 - ・募集要項について
 - ・学校案内パンフレットについて
 - ・大学案内について
- 第 5 回 (11. 6. 14)
 - ・自己点検・自己評価について
 - ・大学案内パンフレットについて
- 第 6 回 (11. 7. 12)
 - ・専攻科推薦入試実施要領について
 - ・自己点検・自己評価について
- 第 7 回 (11. 9. 13)
 - ・看護学科推薦入試実施要領について
 - ・看護短大ホームページ掲載について
- 第 8 回 (11. 10. 25)
 - ・専攻科一般入試実施要領について
 - ・入学者選考試験個人情報開示事務取扱要綱について
- 第 9 回 (11. 11. 22)
 - ・看護学科一般入試実施要領について
- 第 10 回 (12. 1. 31)
 - ・平成 11 年度入試委員会中間総括
 - ・県高等学校長会入試懇談会について

- 第 11 回 (12. 3. 21)
 - ・ 入試に関する印刷物の経費削減について
 - ・ 他校の入試科目の状況について
 - ・ 平成 13 年度入試科目の見直し検討について
 - ・ 入試委員会総括

⑤ 図書委員会

- 第 1 回 (11. 4. 2)
 - ・ 委員長、副委員長の選出及び委員会の開催日程について
- 第 2 回 (11. 4. 19)
 - ・ 平成 10 年度図書委員会引継ぎ事項の確認について
 - ・ 平成 11 年度図書委員会年間計画について
 - ・ 図書館システム更新について
 - ・ 図書館だよりについて
 - ・ 継続購入図書の検討について
- 第 3 回 (11. 5. 24)
 - ・ 平成 11 年度定期選書の実施計画について
 - ・ 教員希望購入図書の取扱いについて
 - ・ 継続購入図書の検討について (継続)
- 第 4 回 (11. 6. 21)
 - ・ 平成 11 年度定期選書について
 - ・ 自己点検・自己評価について
 - ・ 不用図書の処理内規について
- 第 5 回 (11. 7. 15)
 - ・ 平成 11 年度定期選書について (継続)
 - ・ 自己点検・自己評価について (継続)
 - ・ 文献複写の処理 (学生) について
- 第 6 回 (11. 9. 21)
 - ・ 選書について
 - ・ 蔵書点検の結果について
- 第 7 回 (11. 10. 18)
 - ・ 第 2 回定期選書について
 - ・ 図書の買い替え時期 (法令集、辞典等) について
 - ・ ビデオの貸し出しについて
 - ・ BOOKWebPro の申し込みについて
- 第 8 回 (11. 11. 15)
 - ・ 第 2 回定期選書について (継続)
 - ・ 図書、雑誌購入費の見直しについて
 - ・ ビデオの貸し出しについて (継続)
 - ・ 年末年始の図書館休館日について
- 第 9 回 (11. 12. 20)
 - ・ 第 2 回定期選書について (継続)
 - ・ 平成 12 年度予算に伴う需用費等の見直しについて
 - ・ 図書館ホームページの点検について
- 第 10 回 (12. 1. 24)
 - ・ 図書館購入雑誌の見直しについて
 - ・ 図書館ホームページの検討について (継続)
 - ・ 平成 11 年度分野別購入図書について
 - ・ 2 月～3 月図書館休館日について
 - ・ 卒業生、修了生の図書貸出について

- 第11回 (12. 2. 21)
- ・ 選書について
 - ・ 一般雑誌アンケート結果について
 - ・ 平成12年度予算内示について
 - ・ 図書館ホームページの検討について (継続)
 - ・ 図書館だよりについて
 - ・ 平成12年度図書館開放について

- 第12回 (12. 3. 15)
- ・ 図書選書について
 - ・ 図書館ホームページの検討について (継続)
 - ・ 図書館だよりについて
 - ・ 平成11年度図書委員会総括について

⑥ 紀要委員会

- 第1回 (11. 4. 2)
- ・ 委員長、副委員長の選出および役割分担について
 - ・ 定例委員会と書記順の決定
- 第2回 (11. 4. 24)
- ・ 紀要、年報作成について (問題点とスケジュール)
- 第3回 (11. 5. 22)
- ・ 紀要、年報作成について
- 第4回 (11. 6. 26)
- ・ 紀要、年報作成について (年報の内容確認)
 - ・ 紀要執筆要項改正について (修正箇所確認)
- 第5回 (11. 7. 26)
- ・ 紀要原稿提出状況について
- 第6回 (11. 8. 30)
- ・ 紀要原稿提出状況と査読者の決定
 - ・ 年報進捗状況について
 - ・ 紀要執筆要項改正について (改正案検討)
- 第7回 (11. 9. 27)
- ・ 紀要査読状況について
 - ・ 紀要執筆要項改正について (改正案検討)
- 第8回 (11. 10. 25)
- ・ 紀要編集作業状況について (掲載順決定)
 - ・ 紀要執筆要項改正案決定
- 第9回 (11. 11. 22)
- ・ 紀要編集作業について
- 第10回 (12. 1. 31)
- ・ 紀要の刊行について